



「市民が主役・市民目線」の 市政実現を目指して

南相馬市長 桜井 勝延

新年明けましておめでとうございませう。

輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、市政にお寄せいただいております。ご支援とご協力に心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、経済では一部において景気回復の兆しが見えたものの、急速な円高やデフレの影響によって景気は足踏み状態となり、雇用情勢も悪化するなど厳しい状況が続きました。また外交では、尖閣諸島や北方領土を巡る問題が発生するなど、国内外において経済や社会情勢が大きく揺れ動いた一年でした。

このような中、私は多くの市民の皆様のご支援をいただき、昨年1月29日に市長に就任して以来、南相馬市を再生し「合併して良かったと思えるまち」、「全国に誇れるまち」にするため、

市政改革に取り組んでまいりました。

特に、市民の皆様を「株主」や「お客様」として接遇できる「株式会社南相馬市役所」の実現を目指し、職員一丸となって意識改革に取り組むとともに、より健全な財政の構築を図るべく「事業仕分け」の実施や「行

財政改革大綱」の策定などを鋭意進めてまいりました。今後とも「地域懇談会」や「ふれあい懇談会」など、市民の皆様の見に耳を傾け「市民が主役、市民目線の市政」実現に向け、一歩一歩前進してまいりる覚悟であります。

合併六年目となる本年は、産業の振興と雇用の創出をはじめ、市立病院の医師不足解消と経営の安定化対策など、早急に解決しなければならぬ課題に全力をあげて取り組んでまいります。「入るを計って出るを制す」

の基本姿勢のもと、持続可能な財政運営と行財政改革の推進を図るとともに、市民福祉の向上のため、次の三つの重点施策を柱に「南相馬市総合計画」の着実な実行に向けて努力してまいりますので、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

三つの重点施策

「人」がいきいき

経済と地域の力を高める

「活力」

「人」を大切に

住み続けられるための「安心」

「人」を育む

「ひと」と「まち」の「潤い」

新春の門出に当たり、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成22年を振り返る

昨年は皆さんにとってどのような年でしたか。
南相馬市の主な出来事を写真とともに振り返ります。

桜井市長が初登庁

1月29日、任期満了に伴う南相馬市長選挙で初当選した桜井勝延氏は、第2代南相馬市長として初登庁し、新たなまちづくりをスタートしました。

「泉官衙遺跡」 国史跡に指定

2月22日、原町区泉地区の泉廃寺跡が「泉官衙遺跡」の名称で国史跡に指定されました。

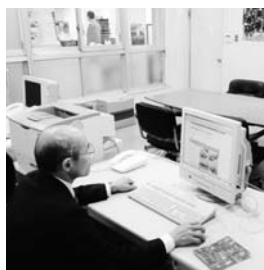


事業仕分けを実施

5月8・9日と11月20・21日に行政の“ムリ・ムダ・ムラ”を市民目線で議論する「事業仕分け」を実施しました。

ガラス張りの市長室

3月3日、市政の透明性を示す「ガラス張りの市長室」を設置し、公務を行っています。





南相馬市の

未来に向けて

南相馬市議会議長 平田 武

新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、依然としてリーマンショックに端を発した金融不安が影を残した年であり、さらに、急激な円高の影響によって国内における企業経営にも大きな影響を与えました。また、本市の基幹産業である農業では、春先の異常低温や夏場の異常高温、収穫時期の長雨に見舞われるなど、作物の育成に大きな影響を及ぼしました。特に稲作では品質低下を招き、米価がかつてない低価格になったことで、食料自給率の向上と戸別所得補償方式を掲げる政府方針に、日本の農業の将来に不安を感じた一年

でもありました。

さて、私事ですが、昨年12月議会の初日に行われた議長選挙において議長という大役を仰せつかり、その責任の重さを痛感しているところであります。これまでの経験を生かし「市民に信頼される議会」、「市民に開かれた議会」となるよう市民の目線に立つて精一杯取り組んでまいります。地方を取巻く社会情勢は、依然として経済不況や雇用不安が続いており、地方自治体の税収や財政も大きな影響を受けております。これまでは、公共施設建設が財政圧迫の要因と言われてきましたが、これからは社会保障費の増大がその要因となり、自治体の運営は大変厳しい時代になってまいります。

さらに、少子高齢・人口減少が進行し、その及ぼす社会構造は未知の世界でもあり、これまで経験したことのない経済環境や社会環境を迎えるかもしれません。

このような厳しい状況の中で、持続可能な自治体運営を監視し、政策を提言していくことも議会として大事な役割と考えますので、議員の皆さんで知恵を出し合い、市民生活と福祉の向上のために尽力してまいる所存であります。終わりに、市民の皆様のご健康とご多幸を心から願い、今年一年が素晴らしい年でありますように念願し、新年のごあいさつといたします。



地域懇談会を40か所で開催

市長と語らう「地域懇談会」は、7月から12月までに40か所(68行政区)で行い、約1,000人の皆さんと地域の課題などについて意見を交換しました。

にぎわった海水浴場

記録的な猛暑となった平成22年の夏は、涼を求める海水浴客で北泉海水浴場や村上海海水浴場は大にぎわいでした。

市議会議員 24人決まる

任期満了に伴う南相馬市議会議員一般選挙は、10月31日に投開票が行われ、24人の新議員が決まりました。

常磐道「原町トンネル」貫通

常磐自動車道原町トンネル貫通式は5月13日、小高区羽倉のトンネル内で行われました。貫通掘削開始のスイッチが押され、トンネルが貫通しました。

